

一般シンポジウム S01

生物の環境認識メカニズムの理解と応用への可能性

Toward Understandings of Recognition Mechanisms of Environments by Living Organisms and Their Applications

山下 敦子¹, 白土 明子²

¹岡山大院医歯薬, ²金沢大院医薬保

生物は、様々な細胞機能を駆使し、環境認識およびそれに対する応答を行っている。実験室のような管理された環境下ではなく、時々刻々と移り変わる環境変化や他の生物との相互作用を認識し、これに対して適切に生理機能を発現することは、この地球上で生物が生きていく上で極めて重要な機能である。

本シンポジウムでは、細菌、植物、動物の各生物種において、環境認識とこれに対する応答反応や生理機能発現を分子レベルで研究している第一線の研究者が、分子生物学・細胞生物学・構造生物学などの幅広い観点から話題提供を行う。そして、それぞれの生物種における環境認識・応答の多様なメカニズムの理解がどこまで進んでいるのかという基礎生物学的な内容から、それらの理解を応用に展開する可能性までをカバーする、現在のフロントラインを議論する。